

フブ・服部の中国通信

お〜っ、結構待遇いいなあ〜・・・



へえ〜・・・

上司M氏提供、街で見かけた靴屋さんの求人です。

店長2名：4,500～6,000元(日本円 約7万円～11万円)

販売員10名：3,000～4,500元(日本円 約5万円～7万円)

コーディネーター2名：3,500～5,000元(日本円 約5.5万円～7万円)

(※ 要ファッションに関する専門知識でしょうか)

- ・月の休日4日、早番遅番の二交代で8時間勤務
- ・募集要項：生き生きとした働き者で、活発な性格、団体精神に優れた方

募集条件もアパレル業としては標準的でしょうか。

え〜つと・・・ 一ヶ月の私の食費込み「お小遣い」がこれだけだから・・・
いやっ、考えない事にしましょう(汗)

さて、ここ一週間くらいで突然寒くなりました。

つい先日まで暑さで目が覚めていたものですが、寒さで目が覚める日が増え、そろそろ南国厦門へ逃亡を企てている服部でございます。

まさかの・・

今回は上述のM氏、貿易部のボスH氏という部下思いの上司から“ネタ”を入手しておりますのでそちらをメインに紹介させていただきます。

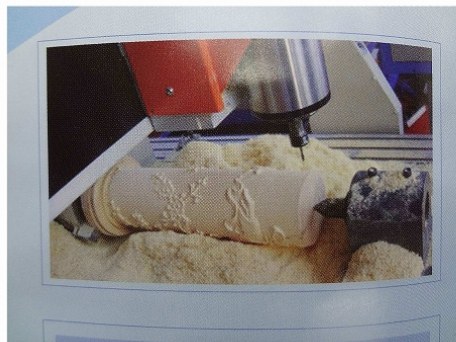
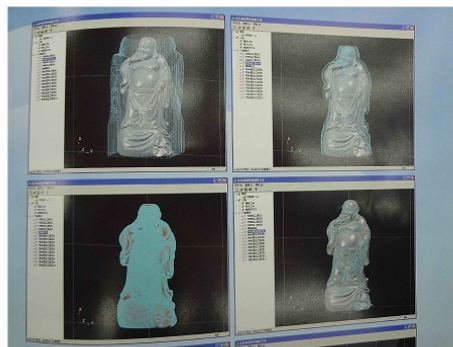
先日厦門で開催されておりました仕事フェアにて、全自動彫刻機なる物が紹介されておりました。なんでも**3Dスキャナー**（カタログを見る限り専用のカメラ）で現物データをコンピュータに取り込み、先端に彫刻用の刃を取り付けた本体がその取り込んだデータを追いかけるように削り込んでいくというとても先進的なもので、理論上は現物サンプルさえあれば全く同じ形の商品を量産することが可能というわけです。

私としてもこの分野だけは自動化出来ないか、できてもまだまだ先の話だろうと思っていましたので、衝撃でした。彫刻品の場合、なかなか細かなニュアンスが中国の職人さんにまで伝わりにくく、また石材はやり直しの聞きにくい素材のため、出来上がってきたものが思っていたものと違うという苦勞をされた方も多いのではないかと思います。かくいう私もこういうのが本格的に実用化されたら楽でいいなあという下心が湧いてみたり（笑）

一方で、同じ物を量産できてしまうと石の良さを逆に殺してしまう事になりはしないだろうか、などと難しいことも頭をよぎりましたが、面白い試みであることには違いありません。

どこか試しに一台買って欲しくないかなあ・・・

チラッ・・次回福建に行った際には各社でやってこようと思います（笑）



※ 左上のスキヤナー見本を撮影、コンピュータに取り込み(右上)削り込みます。

写真を見る限りではなかなか見栄えもする彫刻が出来ていました。
その際には機械の値段も聞いてこようかと思えます。

それでは、今月もお付き合いありがとうございました。

フブ・服部